

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 28 日作成)

委員会名	サステナブル・ビルディング小委員会	主 査 名：野城智也
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：仙田 満
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	サステナブル・ビルディングにかかわる「日本案」を起草し、これを国際的に情報発信する。これにより、日本の視座にたった見識を、形成されつつあるグローバルスタンダードに反映させる。同時に、2002 年までに同小委員会が挙げた連続ワークショップなどの成果を踏まえ、サステナブル・ビルディングのさらなる普及に努める。具体的には、「サステナブル・ビルディング普及のための提言」の内容を見直すとともに、一般市民及び初等・中等教育の現場に反映させる方策を探ることとする。	
委員構成 (委員名 (所属))	野城智也 (主査:東京大学)、武政祐一 (幹事:鹿島建設)、大岡龍三 (幹事:東京大学)、田中俊彦 (東京電力)、安藤尚一 (国交省)、伊香賀俊治 (日建設計)、岩村和夫 (武蔵工業大学)、田村雅紀 (東京都立大学)、中江哲 (鹿島建設)、三井所清 (岩村アトリエ)、三田彰 (慶應義塾大学)、村上周三 (慶應義塾大学)、森川泰成 (大成建設) 横尾昇剛 (宇都宮大学)、吉田倬郎 (工学院大学)	
2004 年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 9 回 (4/12・6 名), 第 10 回 (5/27・9 名), 第 11 回 (6/22・5 名), 第 12 回 (8/9・13 名), 第 13 回 (9/24・10 名), 第 14 回 (11/2・9 名), 第 15 回 (12/13・9 名), 第 16 回 (1/28・12 名), 第 17 回 (2/26・9 名), 第 18 回 (3/28・9 名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>I. 環境教育に関する議論 サステナブル・ビルディングを普及させるための環境教育・学習教材について議論を行った。</p> <p>II. サステナブル・ビルディングの新しいキーワード探索のためのレビュー・マトリックスの作成 1999 年に策定されたサステナブル・ビルディング普及のための提言以降の動向を探るため、サステナブル・ビルディングに係わる新たなキーワードをマトリックス形式にしてレビューを行った。本成果は、本年度報告書に収められている。</p> <p>III. 2004 年版サステナブル・ビルディング普及のための提言作成 上記レビュー・マトリックスに基づき、1999 年度版のサステナブル・ビルディング普及の提言の見直しを行い、新たに 2004 年度版のサステナブル・ビルディング普及の提言を作成した。本成果も、本年度報告書に収められている。</p> <p>委員会 HP アドレス： あり</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>最初に提言を取りまとめて以降 3 年の歳月を経た時点で、サステナブル・ビルディングを取り巻く環境も変化してきたことより、提言の見直しを行うということが当初の活動計画であった。本年度は、新しい提言の検討と取り纏めを行い、当初の活動計画を十分に達成していると考えられる。</p>
その他評価すべき事項	地球環境委員会「これまでの 10 年・これからの 10 年展」に、本小委員会の活動および提言についてパネル展示